# 「村民の総意と参加による村勢進展を目指して」

岩室村長　鷲沢（わしざわ）　赳弥（きゅうや）

あけまして、おめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

去る十一月には平成天皇即位の大礼が行われ、名実ともに平成の御代となりました。

しかし、昨年春、東西ドイツの壁崩壊以来、揺れ動く東欧諸国の政情に加え、中東湾岸情勢の緊迫化、平和な日本、平和な岩室村に住みながらも世界に目を向けざるを得ない現代社会の構造であります。

また、ガットウルグアイラウンドの農産物交渉が、春早々再開されようとしています。これらのことが、即刻、私どもの日常生活に影響してまいります。

この様な情勢にありながらも、お陰様をもちまして私ども岩室村におきましては、さしたる事故もなく新年を迎える事が出来ました。これも一重に村民各位の良識と倫理に基づくものと衷心より感謝申し上げるものであります。

さて、今年は建設中でありました和納小学校も、八月には竣工の運びとなります。また、同時に学校給食センターも完成致しますので、より良い教育環境の整備と充実を図ってまいる所存であります。

また、地域の皆さまには大変ご迷惑をおかけする処でありますが、かねてから進めてまいりました大型プロジェクトの大通川放水路並びに矢川放水路の着工であります。加えて、角海バイパスの施行も本村に入ってまいります。いづれも国、県をあげての大事業でありますので、格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

それに、間瀬漁港につきましては、国の第八次五ヶ年計画によりその整備が行われてまいります。今年は、北防波堤の延長が主な事業となりますが、これが完成しますと、現在の四倍規模の漁港に様変り致します。また樋曽山新々隧道並びに石瀬隧道の残土処理事業として間瀬海岸の埋立を進めてまいります。完成の暁には、約六万平方米の土地が造成されます。これは、漁港の関連施設並びに間瀬地域の環境整備事業の用地として使用されることになります。

いづれに致しましても、村民各位のご理解とご協力がなければ出来得ないことでございます。

以上、将来展望と大きな視野のもとでご容認いただけますようお願い申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

## 1991年 今年は 未年

**平成** 三年は未年です。羊は、「おとなしい」「柔順」「群れになる」などのイメージがありますが、何よりもわたしたちが実感できるのは、ウールのセーターや皮製品の肌ざわりと温かさです……。

羊は紀元前六千年ごろ、家畜化されたといわれています。馬が家畜化されたのが、紀元前三千～四千年ごろですから、羊と人間の付き合いは、かなり長いことになります。

**日本** には、羊にまつわる諺（ことわざ）があまり多くありません。すぐに思いつくところでは、「羊の皮を着た狼（おおかみ）」「羊頭狗肉（ようとうくにく）」くらいのものです。曲がりくねった山道を「羊腸」と表現しますが、これはちょっと古臭い感じがしますね……。

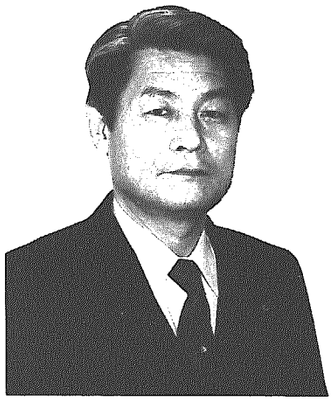
では、なぜ羊に関する諺が少ないのでしょう。西暦五九九年、推古天皇の時代に、百済（くだら）から二頭の羊が贈られたと、日本書紀に記されています。しかし、羊は乾燥した風土が好きなので、日本の気候に合わなかったのでしょう。あまり繁殖しなかったようです。そのため、欧米のように諺が多くないのだろうといわれています。

さて、「一年の計は元旦にあり」といいます。今年の目標を決め、〝迷える羊〟にならないよう、スタートを切りたいものです。





# 「地場産業の活性化と住みよい村づくり」



村議会議長　和田（わだ）　高明（たかあき）

あけましておめでとうございます。新しい年の始めに臨み、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年もまた、世界的に目まぐるしい年でありました。ソ連を始めとする東欧諸国の政治的変革や東西ドイツの統一、東西間の冷戦状態の緩和など明るい話題があった反面、イラクのクェート侵攻による中東危機の様な暗い事件も起っております。世界中の人が、真剣に平和共存と繁栄を求めている時代に、この様な弱肉強食的な暴挙は決して容認できるものではありません。一刻も早い全面解決と恒久的な平和の来ることを願わずにはいられません。

さて、村内に目を転じますとき、待望の和納小学校建設を始めとして、村政全般にわたり順調な進展をみておりますことはご同慶のいたりであります。これも一重に、村民の皆様方の深いご理解とご協力の賜と心より感謝申し上げます。

昨年は、第三次総合開発計画も策定され、二十一世紀へ向けての新たな村づくりの目標が示されましたが、議会といたしましても、本当に住みよい村にするためにはどうすればよいのか、皆様方の英知も伺いながら取り組んでいかなければならないと考えております。

現在、本村の産業状況は楽観できない面もあります。観光産業につきましては、交通体系の充実と業者の懸命な努力によりある程度の活況をみておりますが、基幹産業である農業はご承知のとおりの状態であります。特に米の自由化につきましては、国会決議の存在する現在、すぐに崩れることはないと思いますが、国際的な問題もあり、いまのうちに国際競争力をもつ様に抜本的な対策を考える時ではないかと思われます。商工業はもとより、農業と観光を直結して、特色ある地場産業の活性化を図る方法などがないものかと考えますが、これから充分研究の余地があると思います。

今後とも議会といたしましては、色々と村民の皆様方のお知恵とご協力をいただきながら、村勢の発展と住みよい村づくりのため諸問題に取り組んでいかなければならないと考えておりますので、宜しくお願いいたします。

新しい年、平成三年が皆様にとりましても、また、岩室村にとりましても、より良い年でありますことを心よりご祈念申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。

## 政治家のあいさつ状等は禁止されています

公職選挙法が改正され、村長や議員などの政治家（候補者、候補者となろうとする者及び現に公職にある者）は、選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状や暑中見舞などの時候のあいさつ状（電報なども含む）を出すことは禁止されています。